

BRINKMANN
Real High Fidelity.



Turntable
»Bardo«

BRINKMANN



Turtable Bardo

ブリンクマンターンテーブル

LPレコードは人間の感情を表す高解像度の playback・メディアとして復活しました。レコードの音溝からできる限り情報を拾い出す一方、不要な共振を取り除き、心から楽しめる演奏を再生することがブリンクマン・アナログ・システムの開発理念です。

理想を追求したデザイン、妥協を廃して材質を吟味し、きわめて精度の高い工作技術と、十分に管理された工作現場での匠による組み立て……、これらの要素がブリンクマンの高評価を決定的にしました。

アナログプレーヤーには、正確で静粛かつ安定した回転と、強いシャーシで支えることが必要です。フローティング構造に頼らず、がっしりとしたシャーシを航空機グレードの15mm厚アルミ板から切削加工しました。

ターンテーブルの構造から、ノイズ発生源となる機械的接点をできる限り減らすことも大切です。そのためにはプラッターと回転軸、モーターとが一体となることが理想です。ところが、ダイレクトドライブシステム(DD)は強力モーターによる瞬時の立ち上がりを求めたために、モーターの構造上避けられないコギング、すなわち、加速とブレーキの繰り返しによるミクロレベルでの不安定な回転の揺れが発生し、レコード演奏には適さないはずです。

一方、DDシステムでは機械的接点がなくなるのでノイズは減少します。コギングのない静粛なDDモーターが手に入れば、DDシステムの優位点を生かしたターンテーブルが作れます。ブリンクマンはまず、モーターの設計に取りかかりました。

独自のDDモーター

逆転の発想で、リニアモーターの原理を応用したモーターを独自にデザインしました。四つのコイルを平面に置き、モーター内部にマグネットを取り付けました。コイルとマグネットの反発と引き合いによって静かに回転が始まります。独自の理論によってコイルのレイアウトを決め、マグネットとコイルの位置情報を得て、コイルに電流を流すべきタイミングをコントロールボードが行います。クォーツ発信器によるエレクトロニクス・スピード・コントロールもターンテーブルの安定性に寄与しています。加えて慣性モーメントを考慮した9.8kgのプラッターとモータートルクの最適化を図り、モーターは必要にして十分なトルクに抑えられ、ノイズも大きく低減しました。スムーズかつ静肅で安定した走行によって、DDモーターの欠点であるコギングを大幅に低減させ、美しく繊細な表現に富んだアナログ再生をお楽しみいただけます。



プラッターは試聴を繰り返した上で最適な重量のアルミ、銅、マグネシウムの特殊合金製とし、レコードとの接触面にはダンピング効果を考慮してクリスタルガラスを採用。また、クランパーとそれに適したプラッター面の僅かな傾斜によってレコードはプラッターと一体化します。プラッターは事実上モーターと直結していますので、ノイズ源となる接觸点はありません。また、ベルトの張力や変形などの心配もなく、その点でもDDモーターは有利です。

回転部とピックアップ部から発生する共振を分離し、別ルートでアースするという洗練された方法で共振を排除します。アームマウントは航空機グレードのアルミ厚板から削り出で、3本のねじを緩めるとシャーシ上でアームセンターの位置を正確に調整出来ます。



Tonearm 10.0

ブリンクマン10.0トーンアームはジンバルサポートと一点支持の良いところを組み合わせた独特的の構造です。垂直方向の動きは、アームの両サイドから小型精密ペアリングでしっかりと抑え、スムーズで誤差のない動きを確保しています。水平方向の動きについてはアームシャフト上部のピボット部がアームの回転中心部に位置する小型精密ペアリングによって結合され、ここが支点になっています。これは一点支持とみることができます。ペアリング自体のノイズを最小限にするために、最高精度を誇るスイス製極小ペアリングを採用。アームシャフト下部にもう一つペアリングを配していますが、一点支持の動きを妨害しないように、フリーに動けるようになっています。

アームパイプはハードアルミとステンレスの複合構造で、精密な表面処理により、剛性を高めると同時に共振を抑えています。接点はすべてノイズ源になるという発想で、アンチスケーティング機構もマグネットによる非接触タイプです。

表紙写真は精密ペアリングによるジンバルサポートの10.5トーンアームです。アーム支持方法が10.0アームとは異なりますが、アームパイプの材質は同じです。

MC Cartridge Titan

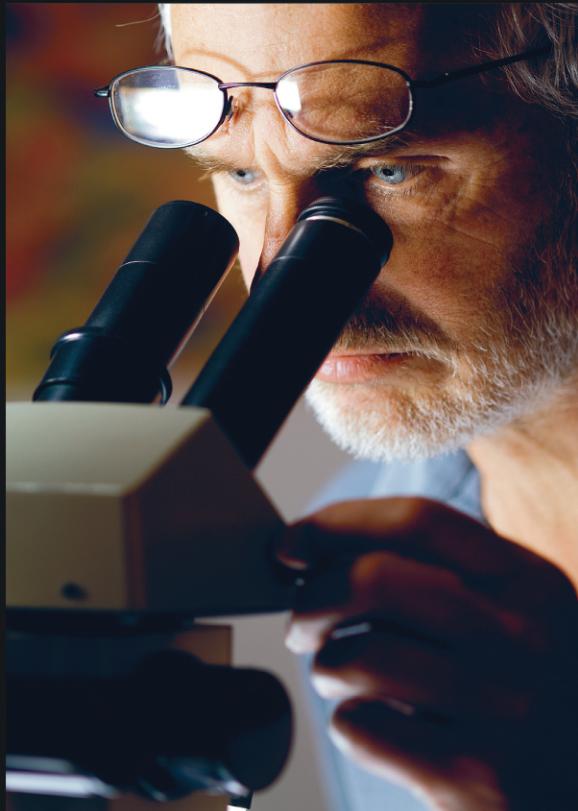
Titanカートリッジはブリンクマンのこだわりを表現したような作品です。アルミ、マグネシウム、チタン、6N純銅を組み合わせて共振対策を徹底させたボディで支えることにより、定評のあるEMT TSD15の音質を磨き上げました。銅製ナット、チタン製ワッシャー、アルミ製ねじと、取り付け部分にも異種金属部品を使用して、ヘッドシェルとの最適なカプリングを行い、共振排除に徹しています。ヴァンデンハル・スタイルス、アルミカンチレバー、アルミニコマグネットという理想の構成で肝心なピックアップパートをブラッシュアップしています。



このように、音楽愛好家によるブリンクマン・バルド・レコードプレーヤーは理論と繰り返し行われた試聴によって誕生しました。静寂なバックグラウンドから浮かび上がるしなやかで情感に富んだ音が紡がれ、私たちの目の前に演奏家を浮かび上がらせる、今だからこそ味わえるアナログの世界です。

プリンクマン・オーディオの概略

1984年にレコード芸術の理想を追求するヘルムート・プリンクマンによってドイツ南部アヒベルグに設立。最高度の精度と原材料を選び抜いた上で、コストを度外視したオーディオファイル向けの製品を作り続けている。どんな小さなパーツでも再生音に影響する、という事実に基づいて、パーツや材質を吟味して使用している。その製作、デザインの姿勢は本国ドイツで高い評価を得ている。



Specifications

Turntable Brado

駆動方式	マグネティックフィールドによるダイレクトプラッタードライブ
回転数	33 1/3, 45rpm スイッチにより切り替え
パワーサプライ	外部ソリッドステートパワーサプライ (DINコネクターによる)
プラッター	最適共振性のアルミアロイ+クリスタルガラス(表面)
シャーシ	共振低減デザインによる15 mm航空機グレードアルミ製
アームボード	航空機グレードアルミ製、アーム位置調整のため回転
アーム	9°、12°、リニアトラッキングアームなど搭載可能
コネクター	RCAまたはXLR出力 DINコネクターによるアームへの直結も可能
グラウンド端子	2mm径
回転速度微調整範囲	± 10% (トリムポットによる)
ワウ・フランジャー	0.035% DIN 45507
定速回転までの時間	12 / 16 秒 (33 1/3 / 45 rpm)
ランプル	-64 dB (test record DIN 45544)
外寸	420 x 320 x 100 mm (w x d x h)
質量	14.8 kg (シャーシ kg, プラッター9.8 kg); パワーサプライ0.5 kg

Tonearm 10.0

形式	スタティックバランス、ジャイロサポート疑似一点支持
スピンドル・ピボット間	243 +/-2mm
全長	307mm
オーバーハング	15mm
シェル オフセット角度	24°
ダイナミック質量	14g
質量	410g
カウンターウェイト質量	150g
適合カートリッジ自重	8~16g

MC Cartridge Titan

発電方式	MC型
出力電圧	0.21mV
スタイルス	vdH
出力インピーダンス	25Ω
負荷 (推奨)	600Ω
適正針圧	1.8~2g
自重	11g



株式会社 太陽インターナショナル

〒103-0027 中央区日本橋2-12-9 日本橋グレイス1F

www.taiyo-international.com

